

機械器具 32 医療用吸引器
一般医療機器 一般の名称：吸引器用ボトル (JMDN コード 38476000)

吸引瓶 3L

【禁忌・禁止】

- ・本製品は、第一医科株式会社製耳鼻咽喉科治療ユニット専用です。他の機器への使用しないこと。[吸引物が漏れて感染の原因となる恐れがあります。]
- ・ガラス製品ですので、衝撃を与えたり、急激な温度変化を与えないこと。[破損した破片でケガをする恐れがあります。]

【形状・構造及び原理等】

1. 原理

ガラス又はプラスチック製で、トップ又はふたによって密閉でき、体液の回収のために吸引器とともに使用する用具をいう。本品は再使用可能である。

2. 形状(一例)



吸引瓶 3L 広口



吸引瓶 3L 広口蓋付取手付

3. 種類

品名	組合せ
吸引瓶 3L 広口	吸引瓶のみ
吸引瓶 3L 広口蓋付取手付	吸引瓶、蓋金具付、取手付き
吸引瓶 3L 広口 取手付	吸引瓶、取手付き
3L 広口ゴムキャップ蓋金具付	蓋金具付のみ

【使用目的又は効果】

本製品は耳鼻咽喉科治療ユニットの吸引モータと接続し、耳腔、鼻腔、喉頭、咽頭などを吸引し、その体液などを受ける瓶である。ガラス製で、ゴム製蓋で密閉でき、耳鼻咽喉科用治療ユニットの吸引部とともに使用する吸引物受けである。本品は、再使用可能である。

【使用方法等】

接続方法：耳鼻咽喉科用治療ユニット側面の扉を開くと、扉の裏側に瓶を設置するスペースがあります。吸引瓶を設置し、吸引瓶と本体側のチューブを接続してください。2本のチューブが確実に接続されている事を確認できたら、扉を閉めてください。この際、吸引用チューブがねじれたり、つぶれたりしない様に注意してください。

【使用上の注意】

- ・吸引瓶には、汚物の上限を表示してあります。吸引物を、上限線を越えて貯留すると不具合の原因となりますので、上限を超えての使用をしないこと。
- ・使用中は、汚物の貯留状態を確認し上限を超えないよう注意すること。
- **- 吸引瓶に浄液、消毒液を貯留させて使用する場合、金属を侵食させる性質のもの、揮発による暴露のあるもの、引火性のあるもの、発泡性の強いものは使用しないこと。また、吸引経路洗浄のために異なった洗浄液を使用する場合には、吸引瓶に貯留させる薬剤と反応し、ガスの発生、薬剤の固化等人体及び機器に悪影響を及ぼす可能性が無いことを確認して使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

環境条件(使用、輸送及び保管時)			
周 囲 温 度	10℃	—	40℃
相 対 湿 度	30%	—	75%
気 圧	700hPa	—	1060hPa

- ・水のかからない水平な場所で直射日光が照射しない場所に保管すること。また気圧、温度、湿度は指定された環境条件を満たす場所に保管すること。
- ・保管・運搬時は傾斜、振動、衝撃などを与えないよう安定状態に注意すること。
- ・化学薬品類の保管場所及び近接場所や腐食性ガスの発生するおそれのある場所、ホコリの多い場所に保管しないこと。

【保守・点検に係る事項】

- ・本製品は、ガラス製ですので衝撃には十分注意してください。特に洗浄時は注意してください。
- ・1日の診療が終了したら取り外して洗浄してください。
- ・洗浄する際は、衝撃を与えないように注意し、熱湯洗浄の後に冷水洗浄など急激な温度変化を与えないでください。

**-【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

ENTFirst 第一医科株式会社

東京都文京区本郷2-27-16

TEL 03-3814-0111

FAX 03-3814-0135

製造業者

第一医科株式会社 技術センター